

価値ある椅子を価値ある市場に (株式会社 宮崎椅子製作所)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地: 徳島県鳴門市大麻町川崎字中筋710
- 代表者: 宮崎 勝弘
- 資本金: 1,000万円
- 売上高: 非公表
- 従業員数: 非公表
- URL: <http://www.miyazakiisu.co.jp/>

①事業概要

<木製椅子・机の製造・販売>

宮崎椅子製作所は、自社デザイナーズブランドの木製椅子を製造しており、同社では外部デザイナーに単にデザインをまかせるだけでなく、デザイナーが工場に入り対話や試行錯誤をしながら製品作りを行う「ワークショップ」スタイルをとっている。

同社の椅子は優しさを感じさせるフォルム、木という素材の温かみ、丁寧な手仕事による気持ちのよい感触、長時間座っても疲れない座り心地などの特徴を持っている。

オリジナルデザインの椅子「pepe(ペペ)」は、グッドデザイン賞を受賞、累積販売数は21,000脚を超える大ヒット商品。同社がこれまで受賞したグッドデザイン賞は18に上り、高い評価を受けている。

②海外展開概要

<台湾・オーストラリアへの輸出>

オーストラリアのインテリアショップから引き合いがあった際は、ジェトロ徳島から海外ビジネス全般や貿易実務などの情報提供を受けつつ輸出に成功。現在も年に3~4回コンスタントに出荷が続いている。

平成23年に入ってから、台湾のインテリアショップからの引き合いがあり、交渉の結果、成約となり現在も定期的な輸出が実現している。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

高い商品力のある製品の開発を可能にした要因は、外部デザイナーの活用である。従来は大手企業の下請けとして木製椅子を生産していたが、2000年代に入り、独自商品を開発する企業へと舵を切り、「ワークショップ」スタイルでの製品作りを行うようになった。

海外販路の開拓にあたっては、ジェトロを活用している。海外ビジネス全般や貿易実務などにつきジェトロ徳島から情報提供を受けている。また、輸出有望案件発掘支援事業に登録し、輸出市場の選択、輸出戦略の構築などで専門家からのアドバイスを活用した。

海外企業との取引をスムーズに行うには社内体制の整備が不可欠だが、同社は海外企業とのやりとりを円滑に行うため、海外業務を担当する社員を採用。海外との連絡や海外見本市での対応などを行っている。ジェトロが実施する貿易実務講座等も受講し、業務に活用している。

④今後の事業展開について

平成24年4月には、世界最高峰の家具見本市「ミラノサローネ」の開催時期に合わせ、ミラノ市街での個展を開催。念願のイタリア市場への足がかりを築きつつある。

平成24年10月には、主催者から推薦枠への招待を受け、ベルギーの家具見本市「INTERIEUR 2012」に出展。欧州での市場開拓に取り組んでいる。

また、平成25年4月にミラノで発表する新モデルも開発するなど、商品構成の幅をさらに広げている。

